



2009年7月吉日  
株式会社バイオマステクノロジー

報道関係各位

ニュースリリース

### 化石資源の節約と地球温暖化防止に貢献する

### バイオマスプラスチックでファイルを生産し、年間44トンのCO<sub>2</sub>削減を目指します

株式会社バイオマステクノロジー(本社:東京都江東区)は、このほど株式会社リヒトラブ(本社:大阪市中央区)、アグリフューチャー・じょうえつ株式会社(本社:新潟県上越市)と、資源米(※1)を使用したバイオマスプラスチックの文具用シート化に日本で初めて成功致しました。このシートで2009年9月より株式会社リヒトラブは文具ファイル類を生産し、年間約44トンの温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)削減を目指します。

バイオマスプラスチック素材は米のほかにトウモロコシ、ジャガイモ、サトウキビなどがありますが、それらは製造工程に手間がかかるためコストが高くなる傾向にありましたが、今回共同で開発した資源米を使用したバイオマスプラスチック製品の場合、他のバイオマス素材に比べて製造コストが安く、従来のファイル類と同程度の価格で製品化することができる利点があります。また、原料として使用される資源米は日本国内で生産されていますので、耕作放棄地復興(※2)にも役立つことが期待されています。

株式会社リヒトラブではクリアーホルダー、リングファイルなど7種類のファイルを製品化し、「バイオマスファイル《資源米》シリーズ」として発売を開始することと致しました。ファイル1冊あたりの資源米の配合率は10%~14%で、ポリプロピレンを使用した一般的なファイル類と比較して6%~13%の温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の削減効果があり、弊社には既にバイオマスタウン計画を掲げている複数の自治体等から採用の意思表示を頂いております。

このたび開発したバイオマスプラスチックシートを使用して生産した文具類の製造および販売は株式会社リヒトラブ社が担当し、主に全国の文具取扱店で発売致します。初年度の販売目標は年間1億円と致します。

先ごろ政府より温室効果ガスの削減目標「2005年度比マイナス15%」が発表され、温室効果ガスの削減は政府、官公庁、民間企業、家庭においても注視されるようになっており、今後も商品開発を進め温室効果ガスの削減に貢献していく所存です。

製品の一例



ボックスファイル



リングファイル



パイプ式ファイル

～用語解説～

※1 資源米とは

古古米や非食用の米の総称。米を食べる人が年々減少している中、毎年剰余米、古古米が発生しています。飼料や米粉、バイオエタノールとして使用するために作られた「新規需要米」も資源米に含まれます。

※2 耕作放棄地の復興について

現在日本では米の需要が減少してきており、米農家は減反政策から米を作りたくても作れない状況となっています。米を生産できない日本の耕作放棄地は埼玉県と同じ位の面積にまで広がっており、荒地となっている耕作放棄地を復興することでもCO<sub>2</sub>削減に貢献できます。

---

### 株式会社バイオマステクノロジー 会社概要

■名称	株式会社バイオマステクノロジー	
■本社所在地	東京都江東区有明3-1-22	TFTビル東館9階 TEL03-5520-8817
■代表者	代表取締役社長 神谷 雄仁	
■設立	平成19年5月	
■資本金	7,000万円	
■事業内容	バイオマスプラスチックの製造販売。成型加工品の開発、販売	

---

### 株式会社 LIHIT LAB. 会社概要

■名称	株式会社LIHIT LAB. (リヒトラブ)	
■本社所在地	大阪市中央区農人橋1-1-22	TEL.06-6946-2525(代表)
■代表者	代表取締役社長 田中経久	
■設立	昭和23年5月	
■資本金	18億3,000万円	
■従業員数	193名(平成21年2月末日現在)	
■事業内容	事務用品の製造販売	

---

### アグリフューチャー・じょうえつ株式会社 会社概要

■名称	アグリフューチャー・じょうえつ株式会社	
■本社所在地	新潟県上越市辰尾新田1	
■代表者	代表取締役社長 大野 孝	
■設立	平成15年1月	
■資本金	9,950万円	

---

このリリースについてのお問合せは、以下の宛先までお願い致します。

〒135-8071 東京都江東区3-1-22 株式会社 バイオマステクノロジー 担当:山本 建

TEL.03-5520-8817 FAX.03-5520-8827 E-mail:info@biomass-technology.jp

ホームページ <http://www.biomass-technology.jp/>